

# 研究名： 小児肘周辺骨折後の遅発転位（late displacement）に関する検討

## 1．研究の目的

小児肘周辺骨折において受傷時ほとんど転位（ずれ）がなくてもギプスなどの固定中に転位（ずれ）が強まり結果的に手術となる場合があります。治療する側もその点を心配することが少なくありませんが、このようにあとから生じる転位（ずれ）を未然に防ぐために、骨折した頃に撮影した単純レントゲン写真の特徴と治療方法を調査することであるべき初期治療を考察し、初期治療に当たる医師への情報を提供することを目的とします。

## 2．研究の方法

研究対象：当センターにて2003年10月～2021年3月までに肘周辺骨折（上腕骨顆上骨折、遠位骨端離開、外側顆骨折、内側上顆骨折、内側顆骨折、外側上顆骨折など）と診断され、外来診察を受けた症例

研究期間：倫理審査委員会承認後～2022年3月

研究方法：肘周辺骨折と診断された症例について、年齢・性別・病態（単純レントゲン写真）・重症度・手術をした場合はその術式・術後の上肢の機能評価などを診療録の情報から調査します。

## 3．研究に用いる情報の種類

年齢、性別、病歴、既往歴、家族歴、病態の特徴、画像所見、手術内容、手術成績、合併症等についての診療録情報

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報には調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

## 4．情報の公表

調査結果は学術誌への論文投稿を行う事によって公表します。

## 5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

## 6 . お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2020年11月10日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 整形外科 診療部長 高木岳彦（担当者氏名）

住所：東京都世田谷区大蔵 2-10-1 国立成育医療研究センター

電話：03-3416-0181（内7421）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 整形外科 診療部長 高木岳彦（責任者氏名）